

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

建 築

試 験 問 題 用 紙

(2026年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

次の 1～6 の記述は、建築に関する法規について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。

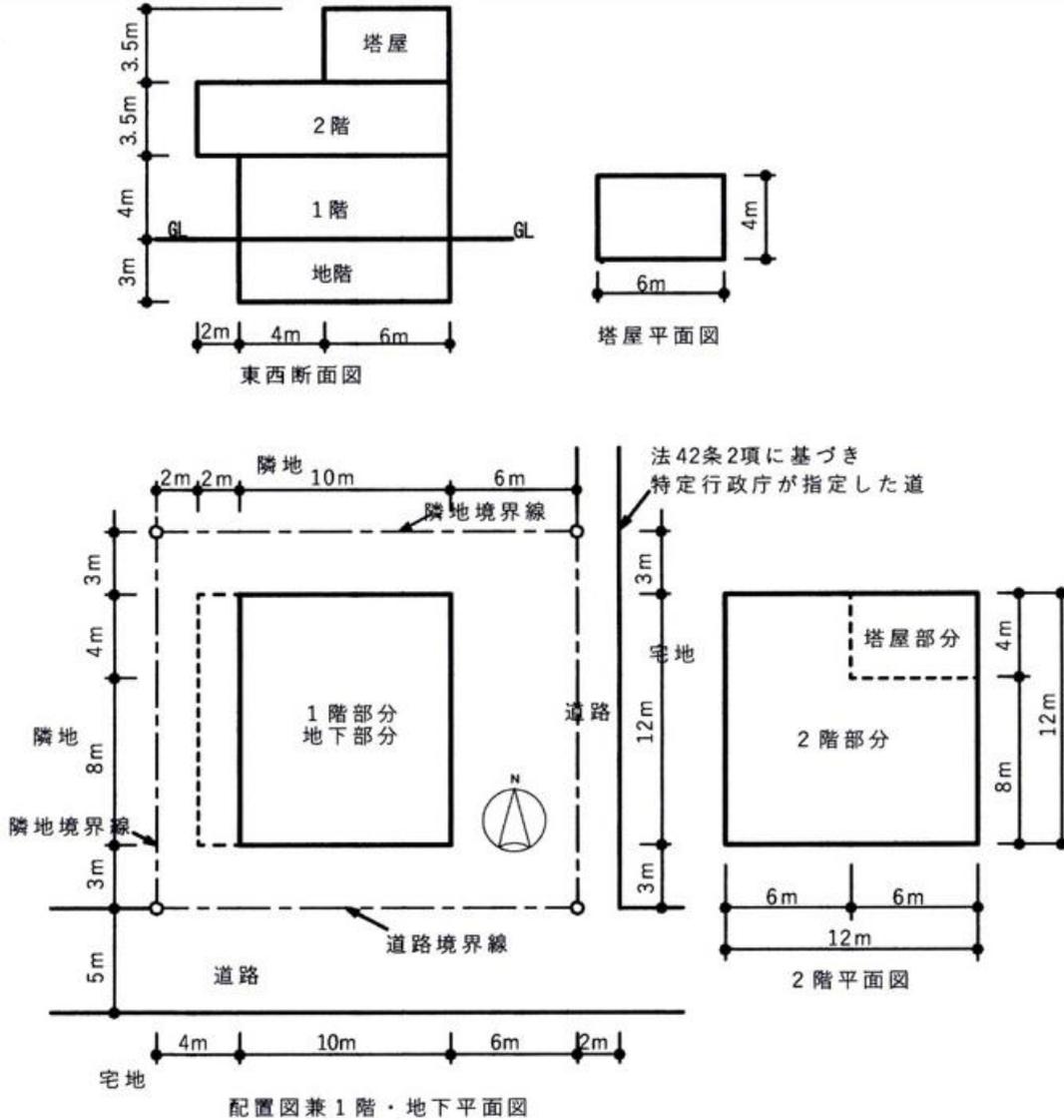
1. 建築基準法上、全国どこの区域でも鉄筋コンクリート造平家建て、延べ面積 200 m²の一戸建て住宅の新築は、確認済証の交付を受ける必要がある。
2. 耐火構造に要求される性能のうち、遮炎性能とは、加熱面以外の面の温度が可燃物燃焼温度以上に上昇しない性能をいう。
3. 第二種中高層住居専用地域内において、2階建てで床面積の合計 1000 m²の事務所は、新築することができる。
4. 都市計画法に基づく事業計画がある道路で、2年以内にその事業が執行される予定があるとして特定行政庁が指定したものは、建築基準法上の道路である。
5. 準防火地域内において、地階を除く階数が4の建築物は、耐火建築物とする。
6. 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」上、共同住宅は、「特別特定建築物」である。

【問題2】

下図の建築物において、次の1～4の に当てはまる数値を建築基準法に基づき算出し、その数値を記入してください。

ただし、この建築物は都市計画区域内にあり、自動車車庫や自転車置場はないものとします。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版）に準拠しています。

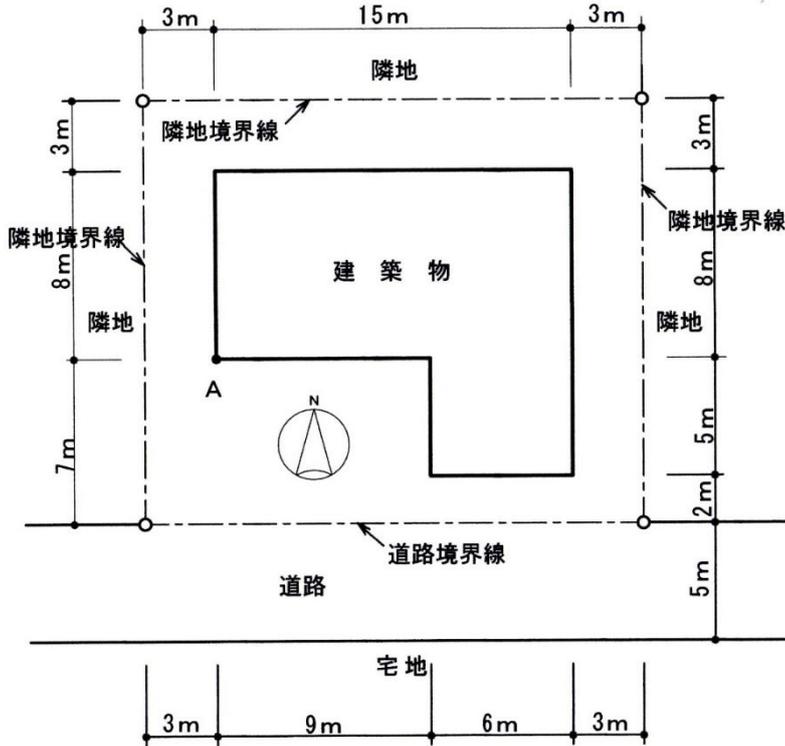


1. 敷地面積は、 m^2 である。
2. 建築面積は、 m^2 である。
3. 建築物の高さは、 mである。
4. 階数は、 である。

【問題3】

下図のような第一種中高層住居専用地域内の敷地で、建築物におけるA点で建築できる次の1～4の高さの最高限度について、 に当てはまる最も適切な数値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。ただし、道路斜線の適用距離を20mとし、敷地と道路の高低差はないものとします。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版）に準拠しています。



1. 道路斜線制限によるA点の最高限度は、 mである。

《選択肢》

ア. 15

イ. 17.5

ウ. 23.75

2. 北側斜線制限によるA点の最高限度は、 mである。

《選択肢》

ア. 18.75

イ. 23.75

ウ. 27.5

3. 隣地斜線制限によるA点の最高限度は、 mである。

《選択肢》

ア. 17.5

イ. 23.75

ウ. 27.5

4. 建築できるA点の最高限度は、 mである。

《選択肢》

ア. 17.5

イ. 18.75

ウ. 23.75

【問題 4】

次の1～5の記述は、建築物の給排水・衛生設備について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 水道水の水質基準では、一般細菌は100個/mL（1mlの検水で形成される集落数が100）以下、大腸菌は検出されないこととされている。
2. クロスコネクションとは、上水の給水・給湯システムとその他のシステムが、配管・装置により直接接続されることをいう。
3. 給水管の横管には、上向き給水方式の場合は先下がり、下向き給水方式の場合は先上がりとし、1/100程度の勾配をつける。
4. 給湯設備の膨張管は、温水ボイラまたは貯湯槽の上部より単独に立ち上げて、膨張水槽または高置水槽に開放する。
5. 伸頂通気方式による伸頂通気管は、排水立管の上部で管径を縮小し、通気管として延長し、大気中に開口する。

【問題5】

次の1～8の記述は、建築物の防災、避難、消火設備、ガス設備について述べたものです。その内容が適切ではないものを3つ選び、その番号を答えてください。

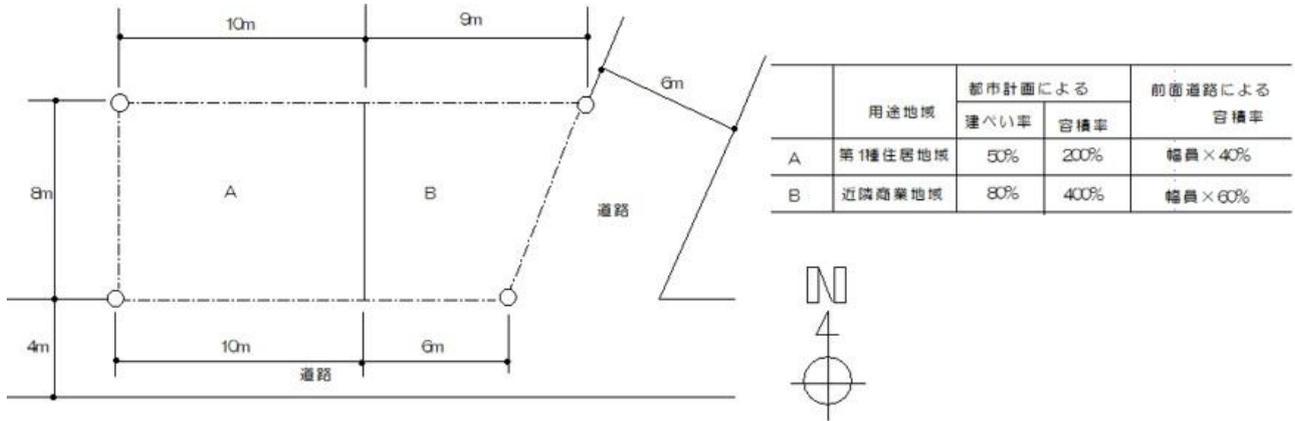
なお、本問題は、「建築法規」（実教出版）、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 屋外消火栓設備は、スプリンクラー、粉末消火栓および動力消防ポンプなどの各消火設備などを技術上の基準の例によって設置した場合、その設置の有効範囲以内の部分については免除される。
2. 不活性ガス消火設備は、人が在室しない電気室などの電気火災の消火に適している。
3. 消防法上の特定防火対象物とは、防火対象物の中で幼稚園、小中学校、高等学校、大学など不特定多数の人が利用する建築物をいう。
4. 2以上の直通階段がある場合、居室の各部分からそれぞれの直通階段までの歩行経路が重複するときには、その重複区間の長さ（重複距離）は、法令上の定められた直通階段までの歩行距離の $\frac{1}{2}$ を超えてはならない。
5. 主要構造部を耐火構造とした、2階建ての住宅の2階にある火を使用する設備を設けた調理室は、内装制限を受ける。
6. 開放型スプリンクラーヘッドは、劇場の舞台裏に設置され、当該天井の各部分から一のスプリンクラーヘッドまでの水平距離は、1.7m以下とする。
7. 都市ガスの供給圧力は、ガス事業法より1.0MPa以上の圧力を高圧、0.1MPa以上1.0MPa未満の圧力を中圧、0.1MPa未満の圧力を低圧と定義している。
8. 屋内消火栓設備で1号消火栓における水源水量は、設置数（2個以上の場合は2とする）に 1.2 m^3 を乗じて得た量以上とする。

【問題6】

下図のような敷地において、建築基準法上、新築することができる建築物の建築面積および延べ面積の最高限度の最も適切な数値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。ただし、特定行政庁により角地に指定されているものとします。

なお、本問題は、「建築法規」(実教出版社)に準拠しています。



1. 建築面積の最高限度

《選択肢》

- ア. 88 m² イ. 94 m² ウ. 96 m² エ. 102 m²

2. 延べ面積の最高限度

《選択肢》

- ア. 368 m² イ. 376 m² ウ. 400 m² エ. 432 m²

【問題7】

次の1～4の建築環境や建築設備に関する用語に用いられている最も適切な単位を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）、「設備計画」（文部科学省）に準拠しています。

1. 音圧
2. 燃焼範囲
3. ポンプの吐出し量
4. 汚染物質の許容濃度

《選択肢》

ア. Pa	イ. dB(A)	ウ. m^3/m^3
エ. A	オ. $\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$	カ. %
キ. met	ク. K	ケ. $\text{kJ}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$
コ. L/min	サ. mol	シ. MJ/kg

【問題8】

次の1～8の記述は、木構造について述べたものです。その内容が最も適切なものを3つ選び、その番号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. べた基礎は、基礎底面の面積が大きいため、荷重を分散させて地盤に伝えることができる。
2. 柱の小径と支点間距離は、平家建と2階建の1階では同じである。
3. 水平力による軸組の変形を防ぐために、圧縮筋かいの断面は、3 cm以上×9 cm以上とする。
4. 和小屋で梁間が3.6mを超える場合には、中間に飛梁を配置して梁間が大きくなりないようにする。
5. 天井板がボード類などで、はぎ合わせ部分を止める場合には、野縁受の真下に平行にかい木を取付ける。
6. 外壁のサイディングは、壁下地の上に胴縁を打ち付け、透湿防水シートやアスファルトフェルトなどの上に張る。
7. 木質系プレファブ構法は、構造用合板などの面材が打ち付けられた床枠組や壁枠組を組み立てて一体化する構造形式で、ツーバイフォー構法とも呼ばれる。
8. 2階床組の隅部に入れる火打梁の寸法は、45 mm×90 mm以上とする。

【問題9】

次の1～8の記述は、鉄筋コンクリート構造について述べたものです。その内容が適切ではないものを4つ選び、その番号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 鉄筋コンクリート構造の略称であるRCは、Rahmen Concrete を表している。
2. 柱・梁の主筋の継手にはガス圧接や機械式継手を、壁・スラブの鉄筋には重ね継手を用いることが多い。
3. 長大な部材に用いるプレストレストコンクリートのうち、工場でプレストレスを与えるものはポストテンション方式である。
4. 同一建築物で地盤が浅い位置と深い位置にまたがる場合、不同沈下を防ぐために地盤が浅い位置には摩擦杭を、地盤が深い位置には支持杭を使用する。
5. 柱・梁の仕口部の定着では、主筋端部に機械式定着具を使用し、フックを設けない例もある。
6. 一般に、大梁のスパン6m・階高4mの建築物の最上階の柱の断面は、30cm程度とする。
7. 鉄筋の劣化を防ぐため、一般に計画供用期間の級が標準および長期の場合、屋外に面する耐力壁の設計かぶり厚さは50mmとする。
8. 内壁仕上げにせっこうプラスターを用いる場合、出隅部分には、床上1.8m程度までコーナービードを取り付けて保護する。

【問題 10】

次の1～8の記述は、鋼構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。

1. 高力ボルト接合の孔径は、軸径に関わらず軸径+0.5mmとする。
2. 柱脚を根巻方式で基礎に固定する場合、基礎にベースプレートをアンカーボルトで固定し、柱下部に柱径の2.5倍以上の高さまで鉄筋を配筋してコンクリートを打ち込む。
3. 方向性のあるH形鋼の柱は、曲げに強い方向を柱間隔の広い方向に合わせ、ラーメンを構成しやすくする。
4. H形鋼の梁は、作用する曲げモーメントが大きいほど断面積は大きく、フランジ間隔は小さくする。
5. 耐火性のすぐれたコンクリート床にする場合には、ALCパネルを型枠にしてコンクリートを打ち込むことが多い。
6. パネル方式のカーテンウォールは、壁と開口部が一体となったパネルを取付け金物で骨組みに取り付ける。
7. 外張り断熱方式は、断熱層が構造体全体をおおうため、熱橋部分がなく、断熱効果が高い。
8. 完全溶込溶接は、母材の全断面を溶かし一体化するが、隅肉溶接と同様に母材より強度が大きくなることはない。

【問題 11】

次の 1～5 の記述は、各種構造の材料に関連した内容を述べたものです。□ に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 木材の繊維方向に表れる模様を木理といい、柾目と板目があり、さらにその中間的な木理を □ 1 □ という。

《選択肢》

ア. 平面柾

イ. 側面柾

ウ. 追い柾

2. 躯体の強さに重要な影響を与える部分に使用する構造用合板は、耐水性能により □ 2 □ に分けられる。

《選択肢》

ア. 1・2類

イ. 特・1類

ウ. 1・2・3・4等

3. 高炉セメントは、A種、B種、C種とあり、水を通しにくく、海水・下水・酸類などによる浸食に対して抵抗性が大きいので、海洋コンクリートや下水道施設に使用されるが、 □ 3 □ は一般建築構造物でも広く使用される。

《選択肢》

ア. A種

イ. B種

ウ. C種

4. 硬化後のコンクリートは、水セメント比が大きい場合、強度や耐久性・水密性・乾燥による収縮性などに好ましくない影響を与えるので、水セメント比の最大値は、基本項目として □ 4 □ によって定められている。

《選択肢》

ア. セメントの種類

イ. コンクリートの圧縮強度

ウ. スランプ値

5. コンクリート充填鋼管構造の柱に S T K 4 9 0 の一般構造用炭素鋼鋼管を用い、その板厚を 1 2 mm とした場合、この鋼管の許容される最大の外径は □ 5 □ となる。

《選択肢》

ア. 5 5 0 mm

イ. 6 0 0 mm

ウ. 6 8 0 mm

【問題 12】

地球温暖化によって引き起こされる気候変動は、暴風雨や猛暑日の増加等から建築物への影響が大きくなっています。次の1～5の記述は、これらの影響への防止策について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。

1. 木構造の屋根葺材料に用いるすべての瓦は、原則として釘またはねじで下地に緊結し、軒先やけらばは□1以上の釘またはビスで緊結しなければならない、と建設省告示で定められている。

《選択肢》

ア. 1本	イ. 2本	ウ. 3本
-------	-------	-------

2. 木構造の外壁は、防水性・防火性ととも風圧力や衝撃に耐える強さをもつ必要があり、サイディング壁では、雨仕舞の面や壁体内結露が少なくなる□2とするため、サイディング材は横張りのものが多い。

《選択肢》

ア. 胴縁工法	イ. 透湿防水工法	ウ. 外壁通気工法
---------	-----------	-----------

3. 木構造では、外気に接する屋根や外周壁などに断熱材を用い、その断熱材の性能は熱伝導率で表され、値が低いほど熱を伝えにくく、使用する断熱材の厚さと仕様を同一とした場合、断熱性能が優れているのは一般に□3断熱材である。

《選択肢》

ア. 発泡プラスチック	イ. 人造鉱物繊維	ウ. 有機繊維
-------------	-----------	---------

4. 鉄筋コンクリート構造の外周壁の外断熱は、コンクリート躯体の蓄熱性を利用でき、室内温度の変化が少ない環境を実現できるが、断熱層を貫通するバルコニーなどの室内側や断熱材の欠損部や開口部まわりなどは□4が必要である。

《選択肢》

ア. バックアップ材	イ. 断熱補強	ウ. 断熱モルタル
------------	---------	-----------

5. 鋼構造は、耐震だけでなく耐風についても検討が必要で、とくに□5の建築物では、地震力より風圧力の影響が大きくなることがあるので注意する。

《選択肢》

ア. 商業建築などの多層多スパン
イ. 事務所建築などの自重の重い中高層
ウ. 工場など自重が軽い低層

【問題 13】

次の1～5の記述は、建築施工について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築施工」（実教出版社）に準拠しています。

1. 地下水や雨水は、山留めの崩壊などに大きな事故を引き起こす原因となるため、地下水などを処理する排水工法のうち、ディープウェル工法は透水性のよい地盤に用いられ、工事の深層化・大型化により市街地でよく利用される工法である。
2. 木構造における1階の床下地は、床束・大引・根太掛け・根太が取付けられ、このとき、大引は背を上に向けて取付ける。
3. 鉄筋コンクリート工事の外部仕上げをタイル張りとする場合、改良積上げ張りは、1段ごとに下部から上部へと張付け、密着張りも同じように1段ごとに下部から上部へと張付ける。
4. 鋼構造の工事で現場接合にトルシア形高力ボルトを用いた場合、本締め後に目視検査を行い、ボルト、ナット、座金のマーキングから、共回りは不合格とし、軸回りは合格とする。
5. 現存する膨大な量の建築物全体を既存建築ストックといい、この既存建築ストックを最大限に有効活用し、新たな価値を付け加える方法のうち、一般的に用途変更をしない手法をリノベーション、用途変更をとまなう手法をコンバージョンという。

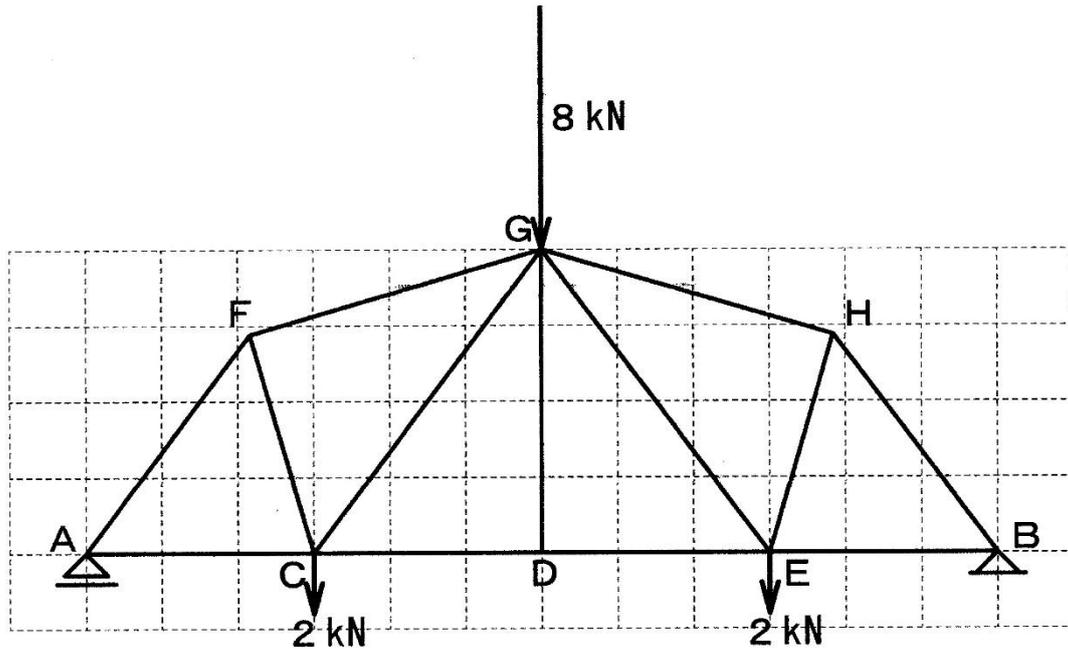
【問題 14】

下図のような荷重を受ける静定トラスのCD材とFG材の軸方向力について、最も適切な値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

ただし、引張力は(+)、圧縮力は(-)とします。

また、部材の長さは、AF材=3.6m、CF材=3m、FG材=4m、CG材=5m、点線の方眼は縦・横1マス=1mを表しています。

なお、本問題は、「建築構造設計」(実教出版社)に準拠しています。



1. CD材の軸方向力

《選択肢》

ア. 6 kN

イ. 7 kN

ウ. 7.5 kN

2. FG材の軸方向力

《選択肢》

ア. -6 kN

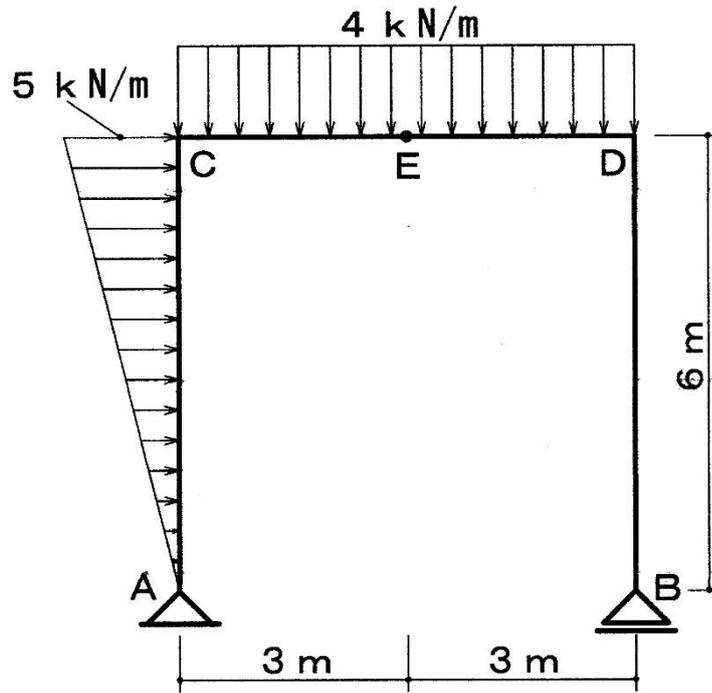
イ. -6.5 kN

ウ. -7 kN

【問題 15】

下図のような分布荷重を受ける静定ラーメンについて、E点のせん断力 Q_E の大きさと曲げモーメント M_E の大きさを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、せん断力と曲げモーメントの「+」「-」を含め、「建築構造設計」(実教出版社)に準拠しています。



1. せん断力 Q_E の大きさ

《選択肢》

ア. -10 kN

イ. -12 kN

ウ. -22 kN

2. 曲げモーメント M_E の大きさ

《選択肢》

ア. $-36 \text{ kN} \cdot \text{m}$

イ. $48 \text{ kN} \cdot \text{m}$

ウ. $84 \text{ kN} \cdot \text{m}$